

ならやま支部便り

第二百二十三号(5月号)平成30年5月1日(火)

皐月(あきぎ) May

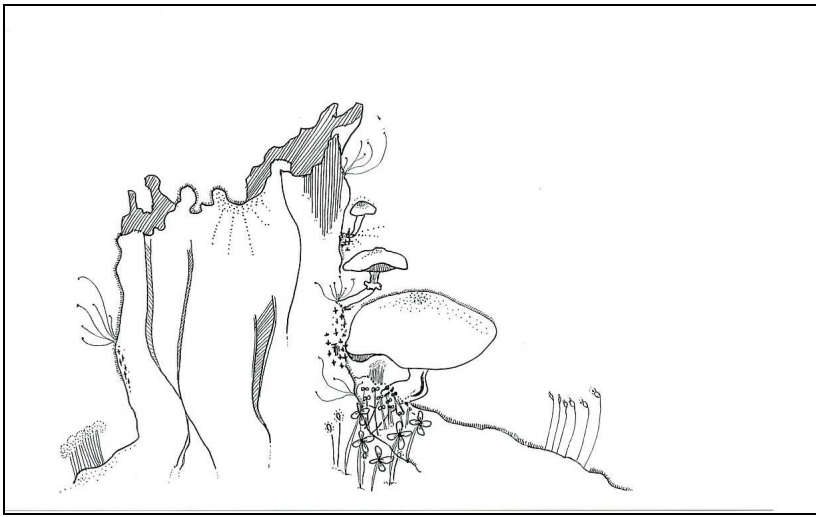
二日 八十八夜

五日 端午の節句 立夏

十三日 母の日

二十一日 小満

今月の絵「きのこ」池田姪苺



五月のスケジュール

五日(土・祝) (財)第47回全国名流大会(愛知)

六日(日) 県刈谷市総合文化センター) 平30年度第35回奈良県総連吟詠研修会(県社会福祉総合センター)5F 9時半

七日(月) ㊦事務局会議 (富雄 18時45分) 十日(木) 漢詩講座 14時 西部㊦5F

十一日(金) ㊦研修部(和歌) 18時 西部㊦

十三日(日) 本部研修会(新教本研修)

十五日(火) まほズクツキング13時(道場)

十八日(金) 菖友会 18時45分 西部㊦

二十日(日) 平30年度第41回全国吟詠コンク

一ル奈良県決勝大会(天理市民㊦)

二十六日(土) 第四期東明未来塾㊦コース13時

二十七日(日) 奈良地区連合会コンクール

(天理川原城㊦)

今月の標語

「子供の心を知りその心を育てることが子供の天性を伸ばす」

子供を教育する時、知識を高めさせることも大切ですが、子供の心を育てることも同様に重要な事です。人間には一人一人の個性があり、固有の天性があります。この天性を伸ばし、十分に發揮させ、世の為に働かせていくことによって、本人もまた幸せに導かれていくのです。天性とは、これが自分だと言いつける持って生まれた魂の部分即ち、能力・特質・個性といったものです。このような子供の天性を見つけ、伸ばしてやるためには、まず子供の心をよく知ることが大切です。親の思いを押し付けるばかりでなく、子供の言う事もよく聞いてやってこそ、子供の考えや望み、気持ちなどが分かり、同時に長所や短所なども見えてきます。その上で、子供の足りないところを改

めさせ、優れている部分をどう伸ばしてやればいいのかを考えていくべきです。親自身が子供の心を知り、心を育てることに注意を向け、積極的に取り組んで欲しいものです。

今月のお誕生日コーナー

荻野伍郎さん(KOKO水)

渡辺孝さん(佐紀)

古川龍菖さん(光台)

峯田菖登さん(平松)

宇陀菖逸さん(野口)

平阪明日香さん(桜)

おめでとう御座います



事務局より

- ☆ 玉越寛隆さん祝賀会 池田黎
- ☆ O氏結婚披露宴 池田黎
- ☆ 哲事務局会議 池田黎、長野
- ☆ 入院 池田黎
- ☆ 菖友会研修 北岡、長野
- ☆ 手術 池田黎
- ☆ ㊦研修部 長野
- ☆ 奈良県吟士権者決定詩吟大会予選
 - 第一会場役員 大山、長野、三島
 - 第二会場出場 松浦
- ☆ 菖友会研修 北岡、長野
- ☆ 奈良地区連合会理事総会 大山、長野
- ☆ ㊦研修部 北岡、長野
- ☆ 哲菖会理事総会 北岡、長野

貴任講師より

「大丈夫 大丈夫」

池田眞藜

想定外の事が起こった。元気印の私が入院手術。この度は、皆様に大変ご心配、ご迷惑をお掛けしました。

まさかと思われる事が起こるんですね。もう治るやろ...と思っていました。中々治らず、遂に腰を上げたのが五日。採血検査で白血球と、炎症反応の数値が異常でした。手術のよい時期を待つて、愈々、十一日午前九時開腹手術。12cm程度縦に筋が入りました。そして30個程のホツチキス。まあまあ、傷だらけの京子ちゃんです。

あ、腕に残った失敗跡の針跡。緑、黄緑、オレンジ、茶褐色、ほんまに...

今の医療は、手術した翌日から歩かす。「傷口の痛みを和らげるなら歩いて下さい。」お腹を抱える様にして、ウォーキングが始まりました。そして、十日間の絶食で、あんなに食事が待ち遠しく思ったのに、最初の三分粥にペースト状の野菜、少し食べるのに20分もかかり油汗...

一番苦痛だったのが夜。寝られたもんやありません。寝ようと思わない事したら、気が楽でした。ま、そんなんやこんなんで、人生貴重な体験をさせて頂き、健康の大切さ。人との温もり。これからも、まず資本の身体を大事にして頑張る所存であります。

最後になりましたが、あちらこちらからお見舞いを頂き、本当に有難う御座いました。

各教室より

「先生の入院」

KOKO月曜 勝山綾香

何時も元気な先生が入院され、手術を受けられ

たと聞きびっくりしました。「何でどうして?」三日前は道場で普段通り指導して頂いていたのに...あの時から体の具合が悪かったのです。辛抱しておられたのです。色々考えさせられました。現実には現実です。どうか早く良くなって下さい。待っています。

『ならやま支部の皆様有難う御座いました』

KOKO月曜 勝山克直

私が四十六日間、奈良医療センターで入院中、お見舞いを頂いたり、励ましのことを頂戴しました事、本当に有難う御座いました。厚く御礼申し上げます。

二月二十七日、息をするのが一寸しにくかったの、かかり付けのお医者さんに診てもらおうと思つて、おおもりの医院へ足を運んだ。

① 息をするのが苦しいんです。

② 息を吸うとき、何だか引つかかるようで上手く息が出来ないんです。

く息が出来ないんです。

と先生と会話をしていたら、一寸レントゲンを撮つてみよう。と、えらい大層な事になって来た。

以前のレントゲンと今回のレントゲンを二枚並べて凝視されている先生の顔は真剣だ。突然、「奈良医療センター」と連絡をするので、勝山さんはそのまま病院へ行つて診てもらつて下さい。奥さんは車の手配をして、病院へ連れて行つて下さい。えらいことになった、どないになるんだろう。まさか入院しなければならぬなんて、思つてもみなかった。家内がすぐ嫁に連絡、嫁はすぐ車で来てくれた。病院までは幸い近いので助かった。

早速、田村先生という女医さんが診てくれた。

「入院してもらいます」との一言、私は驚いた。病名は「肺気腫」のようだった。この病気の原因

は、若い時から長年の間の煙草の喫煙が原因である...今更喫煙を云々しても仕方ないことだ。ならやま支部男性の方で大変な喫煙者は見当たりません。これは嬉しい事です。喫煙と肺気腫はつきものです。私が言うのはおかしいですが「煙草はやっぱ少ない方がいい。少ない方は思い切つて止められた方がいい」そうしたら詩吟も上手になり健康も維持でき、小遣いも若干出来るんじゃないですか。えらそうな事を云つて申し訳ありません。

「奈良吟士権予選」

KOKO通信 松浦瑠音

今回は、第二会場の弥生の里ホールで一次予選に出吟しました。田原本駅に9時40分頃に到着、初めて行く場所なので地図を頼りに歩いていますが、田原本町役場周辺でホールに通じる道が分からなくなり、雨が降る中、50分程度迷いました。出番は77番でしたが、もし間合わなかったらどうしようかと不安になり、再び役場まで引き返し、まだ歩いていない通を進んでも見つからなかったら、田原本駅まで戻つてタクシーで行こうと決め、遅刻で失格になったなどという結果にはすまいと必死に歩き続けました。そうすると、吟詠に対する不安など余計な邪念が消えていき、とにかく本番の舞台に立てたらそれでいいと心底思っていました。

そして、11時頃によくたどり着いた時、会場内から「22番」のアナウンスが聞こえ、ホットしました。

間に合った!舞台に立てる!と、感謝の気持ちでいっぱいになりました。舞台袖で待っている間は、指のマツサージや腹式呼吸、ストレッチをして、池田先生が私の背中に手をあてていい気を送つて

予けるのをイメージし、精神を集中させて本番に臨みました。結果、無事に予選を通過しました。7月の奈良県決勝大会への切符を手に、ホールから出た頃には雨もやみ、意気揚々と歩いていましたが、途中で傘を忘れて来たことに気づき慌てて引き返し、更には、役場から駅までの道が分からなくなり、再び迷い歩くことになり、吟詠も大事だけれど、会場までのルートを把握しておくことや、迷った時の為に時間のゆとりを持って行動することも大事だと改めて思いました。決勝大会へ向けて、ゴールデンウィークもあるので、時間をしっかり確保して練習に励んで頑張ります。

地域活動パートII 光台 古川龍喜

会員の皆様今日は。詩吟では色々お世話になり、又充分な活動が出来なく申し訳ありません。私は平成二十七年十月から半年間、月一回町の呼びかけで自らの健康づくりの振り返りを行うと共に(輝く元気シニアすてき65メイト)と名を打って地域で健康づくりの啓発や活動を展開する為の知識と実践を習得することを目的とした講座を受講し、インストラクターを拝命して活動しています。我が町精華町では初めての試みで第一期生として各地での開催にあたり支援、応援にはせ参じています。超高齢化社会に健康高齢者の増進の一助となるようボランティア活動に励んでいます。自治会では月一回の開催でラジオ体操からDVDによる健康体操を一時間程度楽しく実施しています。更にノウハウ吸収の為、他の自治会、各種講座への参加により知識、実施方法を学び実践に役立てています。地域住民との触れ合いには絶好の機会です。充実とした日々となっています。以前にならやま支部の大会で一部させて頂きまし

たが、又機会があればご紹介させて頂きます。

絵画の「起承転結」

KOKO金曜 西井浩喜

起承転結とは漢詩、特に絶句の構成法の用語であることはご存知の通りです。文書の書き起こしで読者を話に引き込み(起)、主題を展開し(承)、視点を変えて興味を引き(転)、全体を関連付けて締めくくる(結)の構成で作られた絶句を私達は吟じています。しかし、漢詩以外の転用も沢山あります。絵画にも起承転結を踏まえる事があります。絵画は視覚に訴える為、描く側と見る側の感覚の「見る」という目のぶつかり合いであると思えます。例えば、風景画の場合、最初に目にとまる形や色を(起)とすれば、目の移動を促す線や形・色合いは(承)と言えるでしょう。更に、空間や量感を暗示する画面の広がり(転)にあたり、絵画としての安定感をどこかに示す構図上のまとまり(結)と言えるのでは。美術展での作品を見て、やはり良い作品はこの原理を踏まえていると思えます。いつまで見ても見飽きることが無く、作者はこれが描きたかったのだなあとアピールしている構図の絵画は素晴らしいと思います。

絵画を始めて十年ほど経ちますが未だにこの原理を習得出来ていません。なかなか自分の思いをキャンバスに表現出来ない今日ではあります。しかし、年齢を重ねるにつれ頭の体操のつもりで楽しんでいきます。

コンサートへボウ演奏会

KOKO水曜 山本貴喜

過日、オランダアムステルダムに本拠地を置

くヨーロッパ三大オーケストラの一つ、ロイヤル・コンサートへボウを京都コンサートホールへ聞きに行きました。演奏曲目は、ハイドンのチェロ協奏曲(チェロはコンサートへボウ首席のタチアナ・ヴァシリエヴァ)とマーラーの交響曲第四番(昔は「大いなる喜びへの讃歌」とも言っていた声楽つき)の曲で、指揮はダニエレ・ガッテイです。今回マーラーの第四番の第四楽章で歌うソプラノは、ユリア・クライター(私は知らないソプラノです)の予定だったので、急病の為、代役としてスウェーデン出身のマリン・ビストレムという大変有名なオペラ歌手に変更になりました。代役が超一流というのは珍しい例です。

かつて、リーザ・デラ・カーザの完全無欠な美貌と類い稀なる才能に対して音楽評論家をして、天は二物を与えた、とまで言わしめたのですが、最近では、ビジュアル化時代を反映してプリマドンナに美声・美貌に加うるに、モデルのような体形、女優のような演技力さえも求めており、演出傾向がそれに拍車を掛けていると思われまふ。

ビストレムは世界のオペラハウスで活躍しているスレンダーな美形ソプラノです。

閑話休題、マーラーの四番は第四楽章にソプラノ独唱が入ります。演奏スタイルとしては三楽章と四楽章の楽章間は休憩せずにアタツカで演奏する場面が多いです。故に独唱者は二楽章終了後入場して来るだろうと予想していましたが、しかし、指揮者の左横には椅子が置いてありません。(三楽章だけで二十分を超えるため、独唱者は声出しもせず、三楽章の間中ちんまりと座っているのは大変です)それならば、三楽章が終わって独唱者の入場を待つて四楽章を開始するのかなと思っていました。しかし、それも予想は外れました。

トレムは三楽章の中でトゥッテイ(総奏)の時に舞台上手後方から入場してオーケストラの後ろに立ちました。よく見ると彼女の立っている所には椅子が置いてありましたが、それに座らずに立ったままで四楽章をむかえ、莊重芳醇なコンセルト・ボウの響きと溶け合ったこの世のものとは思えない天上の歌声をホールに響かせてくれました。演奏が終わっても感動のあまり聴衆の拍手が一拍ずれる程の素晴らしい演奏会でした。

一〇〇歳のことは一〇〇選 No.31

KOKO水曜 山本眞直

「わたしは平凡な言葉を好きになりたい。」作家井伏鱒二(千九百九十二年七月十日没 九十五歳)井伏は、作品が現国の教科書にも取り上げられる程の著名な作家です。しかし、井伏には剽窃あるいは盗作疑惑がつきまとっています。文化勲章を受章するなど文学界に確固不動の地位を獲得し名声をほしいままにしていた井伏に対する批判は許されないという、空気が文壇を支配していました。死者にムチ打つ事や名誉を傷つける事はしないという日本人の麗しき特性に助けられて、真相は藪の中です。

今月の投稿文

syoutarou様「切り絵講習に参加して」

四月二十日(金)十二時に近鉄奈良駅 行基堂薩噴水前に集合、食事後、奈良三条通りに面したクロネコならTABIセンター2Fで西村幸祐先生の御指導で開催されました切り絵を今回も参加させて頂きました。今回は池田葛梨先生は入院で参加されておらず、女性七人と私の八人の参加でし

たので、少し寂しい切り絵の開催でした。



寄稿 五十二回 山本眞直先生

【南都六宗で現在残る三宗派の紹介】

法相宗 すべては「識(心)」で生み出される

法相宗の始祖は玄奘三蔵。「西遊記」の三蔵法師としても知られる僧だ。玄奘は七世紀初頭に中国からインドへ渡り、多くの教典を持ち帰って来た。帰国後、教典の漢訳に励む。その中の一つ「成唯識論」という論典を拠り所にして法相宗を開いたのが、玄奘の弟子の慈恩大師である。

法相宗が日本に伝わったのは六百五十二年道昭という僧が遣唐使として中国へ渡り、玄奘に直接師事した後、日本で広めた。つまり法相宗の基盤を作った始祖が玄奘で、宗派として興した宗祖が慈恩大師。それを日本に伝えた道昭は、伝祖と呼ばれている。法相宗は南都六宗のなかで最も早く日本に伝わり、元興寺を中心に盛隆を誇った。その為ここで広まった法相宗を「元興寺伝」と呼ぶ。その後、他の僧が中国で法相宗を学び、元興寺とは別の興福寺でそれを広めた。こちらを「興福寺伝」と呼ぶ。やがて元興寺伝は興福寺伝吸収され、興福寺が法相宗の本山となった。

華嚴宗 有名な大仏は宇宙全体を照らす

法相宗と同じく華嚴宗も奈良時代に日本へ伝わった南都六宗の一つだ。東大寺が大本山で「奈良の大仏」こと盧舎那仏を本尊としている。

華嚴宗は「華嚴経」を拠り所としている宗派だ。「華嚴経」はいまから二千年以上も前、インドのゴータマ・シッダールタ王子(釈迦)が悟りを開き、ブッダになった後、最初に説いたものと言われている。釈迦が悟りに至った教義がそのままの形で書かれていると考えられ、この教典をもとに華嚴宗が成立した。「華嚴宗」が日本に伝わったのは、七百三十六年、経典の内容は非常に難解で、日本の僧だけで理解するのは困難だった。転機が訪れたのは、その四年後、新羅の僧の審祥が「華嚴経」の内容を講じるために東大寺へやって来た。この審祥から教えを受けたのが、日本の僧の良弁だ。「華嚴経」を学んだ良弁は、日本の華嚴宗の確立に尽力した。その為、良弁が日本における始祖となっている。

律宗 規律を守れば調和の世界に到達する

五度も来日に失敗した鑑真

法相宗、華嚴宗、と続く南都六宗のうち、現在も残る最後の一つの宗派が律宗だ。お釈迦様の教えを記録した「経」、僧や信者が守るべき戒律を記した「律」、それらに注釈を加えた「論」の三つに纏められ、律宗はそのうち「律」に重きを置いていることが宗派名の由来となっている。要するに律宗は、ルール(戒律)をしっかりと守り、それを実践して行こうとする宗派なのだ。

仏教が発展してきた奈良時代の日本の僧達は、その研究ばかりに意識が向かっており、戒律がいい

加減になっていた。聖武天皇はそれを正す為、戒律を重んじる律宗の高僧を唐から招くことにした。そこで白羽の矢が立ったのが唐の大明寺で四万人以上に戒律を授けたという鑑真だ。

唐の鑑真に日本へ来てもらおうよう説得に向かったのは、栄叡、普照という二人の僧だ。二人の僧は鑑真を連れて早速日本へ連れて帰ろうとしたが、港の役人に止められる。二度目は暴風雨に襲われて引き返す。三度目も同じく暴風で失敗、四度目には「もう無理して行かないで欲しい」と願う弟子によつて寺へ連れ戻されてしまう。諦めきれない鑑真は寺を飛び出して五度目の渡航に挑戦するも、やはり失敗。この時点で鑑真は失明。栄叡も唐で病死していた。六度目の渡航に挑戦してようやく日本にたどり着く。最初の渡航から十年以上もかかった成功だ。

今月の生花 菅沼様

(材料) フトイ、芍薬、フリージア、ゴット麦



今月の投稿写真

浜松フラワーパーク (飯田様より)



今月の曲&挿絵 syoutarou & lumiyo 様

<http://syoutarou.com/tenryukudareba-m.htm>

「天龍下れば」

作詩 長田幹彦
作曲 中山晋平



(1) ハー天龍下ればヨー

ホホイノ サツサ

しづきに濡れてヨ 咲いた皐月にエー

咲いた皐月に 虹の橋

ホンニ アレハサノ 虹の橋

(2) ハー伊那の夜空ヨー

ホホイノ サツサ

あの片時雨ヨ 明日は下りじやエー
明日は下りじや 笠ほしや

ホンニ アレハサノサ 笠ほしや

(3) ハー筏つないでヨー

ホホイノ サツサ

藤蔓さえもヨ 切れりや気になる夫婦岩

切れりや気になる 夫婦岩

ホンニ アレハサノ 夫婦岩

(4) ハー越える淵瀬にヨー

ホホイノ サツサ

生命をかけてヨー 主と私はエー

主と私は 中泉

ホンニ アレハサノ 中泉

「天龍下り」は急流での船頭の棹さばきが、夏場の涼味と満天のスリルで水しづきが太陽に照らされて虹が立ち、観光客からため息と喝采が出る。昭和8年、ビクターから発売されたが、「天龍下れば」と言えば、市丸かと市丸の代表曲となった。

編集後記

今月号の支部便りは、諸般の事情により水曜クラスの山本が代行編集致しました。

(公益社団法人) 関西吟詩文化協会

公認哲昌会 ならやま支部

発行責任者 責任講師 池田葛梨

FAX&TEL

0742-33-3496